



市民フォーラム

資料代
大人500円
(学生無料)

日時

2016年6月11日(土)

〈受付開始〉12:00 〈開会〉13:00 〈閉会〉16:00

会場

東京ベイ幕張ホール

医療提供体制再編と地域包括ケアへの対抗 ~あるべき地域医療の姿を考える~

安倍政権が進める社会保障・税「一体改革」のもとで、医療・介護の提供体制を再編する計画が動き出しています。再編計画は大きく2つの柱から成り立っており、第1の柱が、2025年を目標年度とする医療費抑制のための病床削減であり、もう一つの柱が「地域包括ケア」です。病院から早期退院させられ、介護施設にも入所できない患者に対して、市町村に医療・介護提供体制をつくらせ、在宅でぎりぎりまで生活させようとするものです。

地域・在宅に押し出された患者の受け入れ体制は極めて脆弱なままとなっているなかで、病床数の削減は強引に進めるという姿勢です。病院・介護施設でも、地域・在宅でも、少ない医療・介護給付と「自助・互助」の組み合わせでカバーする“安上がりな”医療・介護体制づくりをめざしています。医療から患者を追い出し、介護も取り上げるようになります。

しかし、こうした安倍政権の狙いが簡単に貫徹できるわけではありません。改革の弱点や住民の医療要求を明らかにし、医療保障を求める運動を広く国民とともにすすめる立場から、地域医療の課題を中心に市民とともに考えます。

コーディネーター

横山 壽一

(公益財団法人 日本医療総合研究所副理事長)

パネリスト

後藤 英輝

氏(長生郡市の医療をよくする会 代表委員)

平川 健司

氏(鴨川市福祉総合相談センター 主査)

弓削 久枝

氏(松戸市馬橋高齢者いきいき安心センター センター長)

主催

第43回 医療研究全国集会組織委員会 TEL03-3875-5871

日本医療労働組合連合会 <http://www.iryoren.or.jp/> 〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館3F
公益財団法人 日本医療総合研究所 <http://iryousouken.jp/> 〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館1F